

## 2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [ 金沢市立浅野川小学校 ] 担当教諭名 [ 西野 聡子 ] ( 1年1組 26名 )  
 交流相手国 [ メキシコ ]  
 海外学校名 [ Comunidad Educativa Yaxunah ] 担当教諭名 [ Angela Suzan Garland ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	生活科	友達いっぱい 大作戦	4
	図工科	描いて伝えよう	6
	英語活動	自己紹介しよう	2

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	大好きな友達と昔遊び
絵に込めたメッセージ	仲良くなったメキシコの友達と一緒に、「くじらぐも」に乗って、いっしょに旅をしたいな。そうしたら、日本の昔遊びを紹介するよ。メキシコへ旅したら、メキシコの遊びも教えてね。お互いの楽しい遊びや、ずっと伝わっていることを、知り合いたいな。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
小学 1 年生でも、英語を楽しく使い、TV 会議はもちろん、交流相手とさまざまなコミュニケーションを図ることができたこと。それにより、児童一人一人が英語を学ぶ必要感をもつことができた。それは、実際に使うための、本物体験による、生きた英語力を鍛えるための必要感である。	交流相手校の先生との、価値観の相違が気になった。つまり、当初から産休に入り、途中休みに入ることは、こちら側は知らされておらず、その間、いろいろと努力をしてくれたようだが、相手校の先生が詫びるように、活動がその間に止まってしまい、うまく連絡が取れなかったり、意思疎通ができなかった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
彩色のキックオフに、親子活動の一つとして、土曜に親子で絵を塗る作業を行った。実際に絵を見ていただき、同時に子ども達が生き生きと活動している姿を実際にみてもらうことをねらった。TV 会議や描画の様子を、ビデオ放映した。また、交流している様子を伝える学級通信や、You tube に動画をアップして見てもらった。	学校アンケートに、1 年生でも、海外と交流させてもらったことを感謝するコメントがあった。また、参観日、懇談会でも、親から、内容を詳しく聞きたい思いと、子ども達の変容に大変喜ばれていた。年度末の 6 年生を送る会では、全て英語の、「大きなかぶ」の英語劇を行うことができ、親も感動していた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月～9月	「メキシコにも友達を作ろう」これまでの学習をふり振り返りながら、「もっとたくさんの友達を作ろう」という願いの下、メキシコの3年生と仲良くなれる機会をもつことを知る。	校内で「なかよし大作戦」を行い、楽しかったことやもっとたくさんの友達を作りたいという願いが生まれる中で、スムーズに児童の意識が、世界に広がった。しかしそんなことができるのかと、不安もみせた。	生活科4
情報収集	10月	「メキシコって、どんな国？」借りてきた本やインターネットで教師が調べたこと交流校から送られた情報を下に、メキシコの文化や様子を知る。	自分なりに、メキシコの国旗、食べ物や洋服に関心を持ち、大型TVに映し出すなどして興味深く調べていた。相手から送られてきた画像に大きな関心をもった。	国語科2
テーマ検討	11月	「何を伝えようかな？何が知りたいかな？」学校生活の様子や、学習したおもしろい作りを生かして、メキシコの友達に伝えようとする。お互いの国の伝統的な遊びや文化をテーマにする。	これまで学んだことを再度おさらいをしながら、何を伝えるか検討したが、非常に熱心に取り組んだ。またテレビ会議での意欲もすばらしく、相手とどんなことでもいいから繋がり、さまざまなことを知りたがった	国語科2 英語活動2 図工科1
制作	11月～12月	「大好きな昔遊びを伝えよう」構図をみんなで相談し、教師が代筆下書きは、児童による挑戦となる。課外活動として、親子で彩色を始める。その後は、全員が交代で彩色。	できることとできないことのギャップに苦しんだが、自分達の絵の完成度を上げたいという思いは共通だった。彩色は、どんどん要領を覚え、お互いに自然な形で協力し合う姿が多く見られた。	図工科5 課外活動4
鑑賞	3月	「友達は、何を描いたのかな？」日本の絵と比べながら、相手の友達は何を描いたのか、想像したり考えたりする。グループで全員が考えを出し合い、思いをもつ活動を行った。	グループで話し合った時も、全員が意見を言い、全体交流でも、積極的に伝え合う姿が見られた。メキシコと違うところや似ている所を子ども達から自然な意識の流れで出てきた。	国語科1

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	5・4・③・2・1	メキシコの友達が身近に感じられるからこそ、改めて自国の文化について捉える機会となった。
異文化の理解	4	5・4・③・2・1	メキシコの友達が身近に感じられるからこそ、外国の様子や文化について知りたい、調べる姿を育てたいと思った。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	1	⑤・4・3・2・1	英語への学ぶ意欲が自然にわき上がった。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・④・3・2・1	調べたい思いが本物体験から生まれたものとなっていた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	3	5・④・3・2・1	描画だけでなく、TV 会議や、ビデオレター等の作成にあたるまで、自分達でやりとげるための人間関係が築かれた
協働する力 (役割分担・協力)	2	⑤・4・3・2・1	納得のできる出来映えの絵を仕上げるためには、みんなで協力して作らねばならないことを、実感していた。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	すすんで積極的に自ら動き出す姿をめざすことがこれらの活動のねらいである。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	自分達の描き方で、自由に学んだことを表現させたいと考えた。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	交流してきた相手の絵を見て、その絵を理解したいという思いを大切にしたいと考えた。